



豊かな心を育む  
「特別の教科 道徳」の授業

大分市道徳指導ハンドブック **改訂版**

令和5年4月  
大分市教育委員会

## 目次

「大分市道徳指導ハンドブック（改訂版）」は、心に響く魅力ある道徳科の授業の充実に向けて、本市の先生方の実践を基に作成しました。本ハンドブックを先生方の授業改善に役立てていただきたいと考えております。

I 道徳教育を通して目指すもの	P 1～P 2
◇考え、議論する道徳 ◇内容項目について	
II 考え、議論する道徳科の授業づくり	P 3～P 4
◇授業づくりの手順	
III 道徳科の授業展開例	P 5～P 6
◇道徳科の特質を生かした学習指導 本時案例（小学校・中学校）	
IV 道徳科に生かす指導方法の工夫	P 7～P12
◇導入の工夫 ◇話合いの工夫 ◇書く活動の工夫	
V 道徳科の評価について	P13～P14
◇評価の基本的な考え方 ◇組織的・計画的な評価の工夫	
◇評価の記述について ◇評価において大切にしたいこと	

授業実践に役立つ情報（指導案・ワークシート・板書写真等）を大分市教育センター内 T-LABO 等に掲載しています。各ページにある二次元コードから！



## I 道徳教育を通して目指すもの

### 道徳教育の目標

教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己（人間として）の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

（ ）内は中学校  
学習指導要領 第1章 第1の2の（2）より

### 「特別の教科 道徳」\*1の目標

\*1（以下、道徳科）

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

（ ）内は中学校  
学習指導要領 第3章 第1より

道徳科の目標は道徳教育の目標と同様に「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」となっています。この道徳性を構成する諸様相は以下の四点です。



#### 道徳的判断力

それぞれの場面で善悪を判断する能力

#### 道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情

#### 道徳的実践意欲

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし、道徳的価値を実現しようとする意志の働き

#### 道徳的態度

道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

この諸様相は内面的資質を意味しています。道徳科の授業を通して、どのような道徳性を養いたいかを明確にしておくことが大切です。



小学校

中学校



学習指導要領（平成29年告示）解説「特別の教科 道徳編」⇒

## ◇考え、議論する道徳

道徳科では、児童生徒がよりよく生きるために、**答えが一つではない**道徳的な課題を自分自身の問題として捉え、それに向き合いながら考え、判断し、行動・実践できる資質・能力を育む授業「考え、議論する道徳」の授業が求められます。この実現に向けて、どのような内容について、考えを交流していくのかということがポイントとなります。



児童生徒の本音とたてまえ、分かっているけれどそうは答えられない…自分の答えが一つではないことや、心の葛藤があることについて、児童生徒の考えを交流する場面が必要です。その場面を通して、自分との関わりとして考えさせたり、多様な感じ方や考え方に合わせたりしながら、考えを深めさせることが大切になります。

**考える** 主体的に自分との関わりで考える  
自分の感じ方、考え方を明確にする

**議論する** 多様な感じ方、考え方と出会い、交流する  
新たな気づきや学びを見いだす

## ◇内容項目について



1 単位時間の授業に関する内容項目だけでなく、自校の児童生徒の発達段階や実態を踏まえ、学校としてどの内容項目を重点的に指導するのか、それぞれの内容項目の系統性や特質はどのようになっているのかを全体にわたって理解しておく必要があります。

※学年の区分は、義務教育学校の該当学年を含む

	小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	中学校
A 自主として 関与すること	① 善悪の判断、自律、自由と責任	① 善悪の判断、自律、自由と責任	① 善悪の判断、自律、自由と責任	① 自主、自律、自由と責任 ② 節度、節制 ③ 向上心、個性の伸長 ④ 希望と勇気、克己と強い意志 ⑤ 真理の探究、創造
	② 正直、誠実	② 正直、誠実	② 正直、誠実	
	③ 節度、節制	③ 節度、節制	③ 節度、節制	
	④ 個性の伸長	④ 個性の伸長	④ 個性の伸長	
	⑤ 希望と勇気、努力と強い意志	⑤ 希望と勇気、努力と強い意志	⑤ 希望と勇気、努力と強い意志	
B 主として 人との関わり に関すること	⑥ 親切、思いやり	⑥ 親切、思いやり	⑦ 親切、思いやり	⑥ 思いやり、感謝 ⑦ 礼儀 ⑧ 友情、信頼 ⑨ 相互理解、寛容
	⑦ 感謝	⑦ 感謝	⑧ 感謝	
	⑧ 礼儀	⑧ 礼儀	⑨ 礼儀	
	⑨ 友情、信頼	⑨ 友情、信頼	⑩ 友情、信頼	
	⑩ 相互理解、寛容	⑩ 相互理解、寛容	⑪ 相互理解、寛容	
C 主として 関与や社会 に関する こと	⑪ 規則の尊重	⑪ 規則の尊重	⑫ 規則の尊重	⑩ 遵法精神、公德心 ⑪ 公正、公平、社会正義 ⑫ 社会参画、公共の精神 ⑬ 勤労 ⑭ 家族愛、家庭生活の充実 ⑮ よりよい学校生活、集団生活の充実 ⑯ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 ⑰ 国際理解、国際親善
	⑫ 公正、公平、社会正義	⑫ 公正、公平、社会正義	⑬ 公正、公平、社会正義	
	⑬ 勤労、公共の精神	⑬ 勤労、公共の精神	⑭ 勤労、公共の精神	
	⑭ 家族愛、家庭生活の充実	⑭ 家族愛、家庭生活の充実	⑮ 家族愛、家庭生活の充実	
	⑮ よりよい学校生活、集団生活の充実	⑮ よりよい学校生活、集団生活の充実	⑯ よりよい学校生活、集団生活の充実	
	⑯ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	⑯ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	⑰ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	
	⑰ 国際理解、国際親善	⑰ 国際理解、国際親善	⑱ 国際理解、国際親善	
D 主として 自然・崇高な ものとの関わり に関する こと	⑱ 生命の尊さ	⑱ 生命の尊さ	⑲ 生命の尊さ	⑱ 生命の尊さ ⑲ 自然愛護 ⑳ 感動、畏敬の念
	⑲ 自然愛護	⑲ 自然愛護	⑳ 自然愛護	
	⑳ 感動、畏敬の念	⑳ 感動、畏敬の念	㉑ 感動、畏敬の念	
項目数	19項目	20項目	22項目	22項目

内容項目に関する考え方については、

大分市教育センターHP内「T-LABO」>教育情報 Espresso>各種教育情報>「考え、議論する道徳授業実践」に掲載⇒

大分市教育  
センターHP

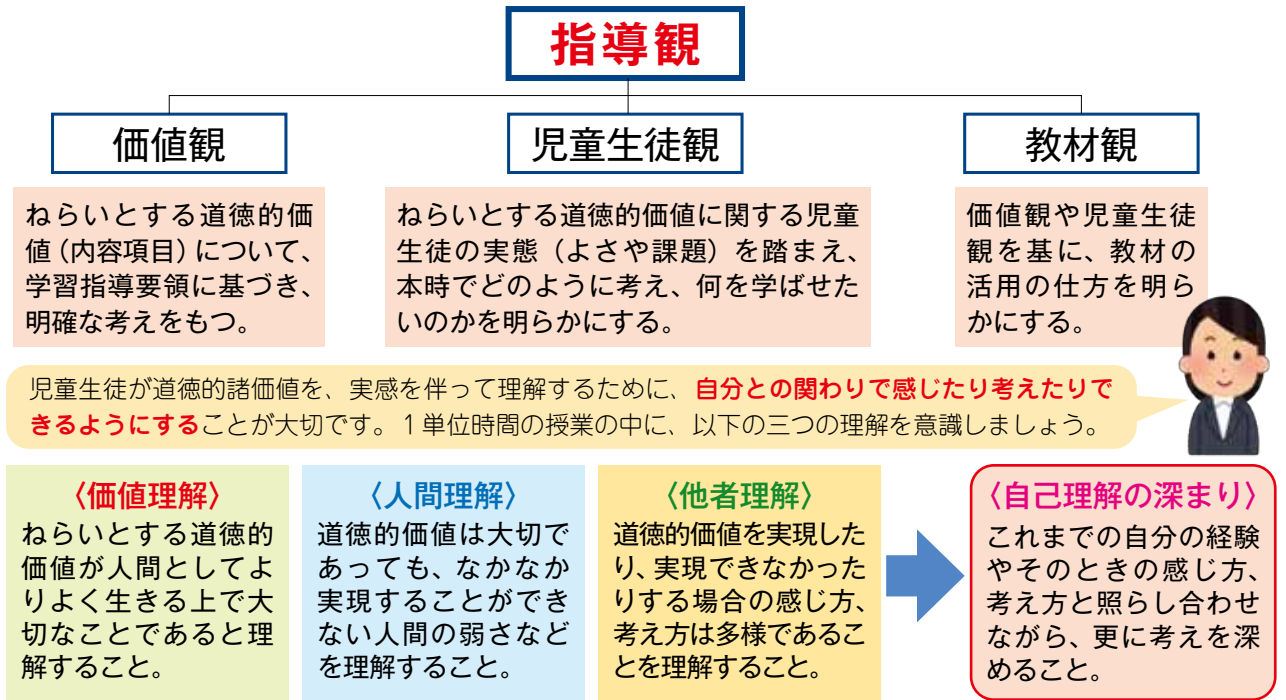


## II 考え、議論する道徳科の授業づくり

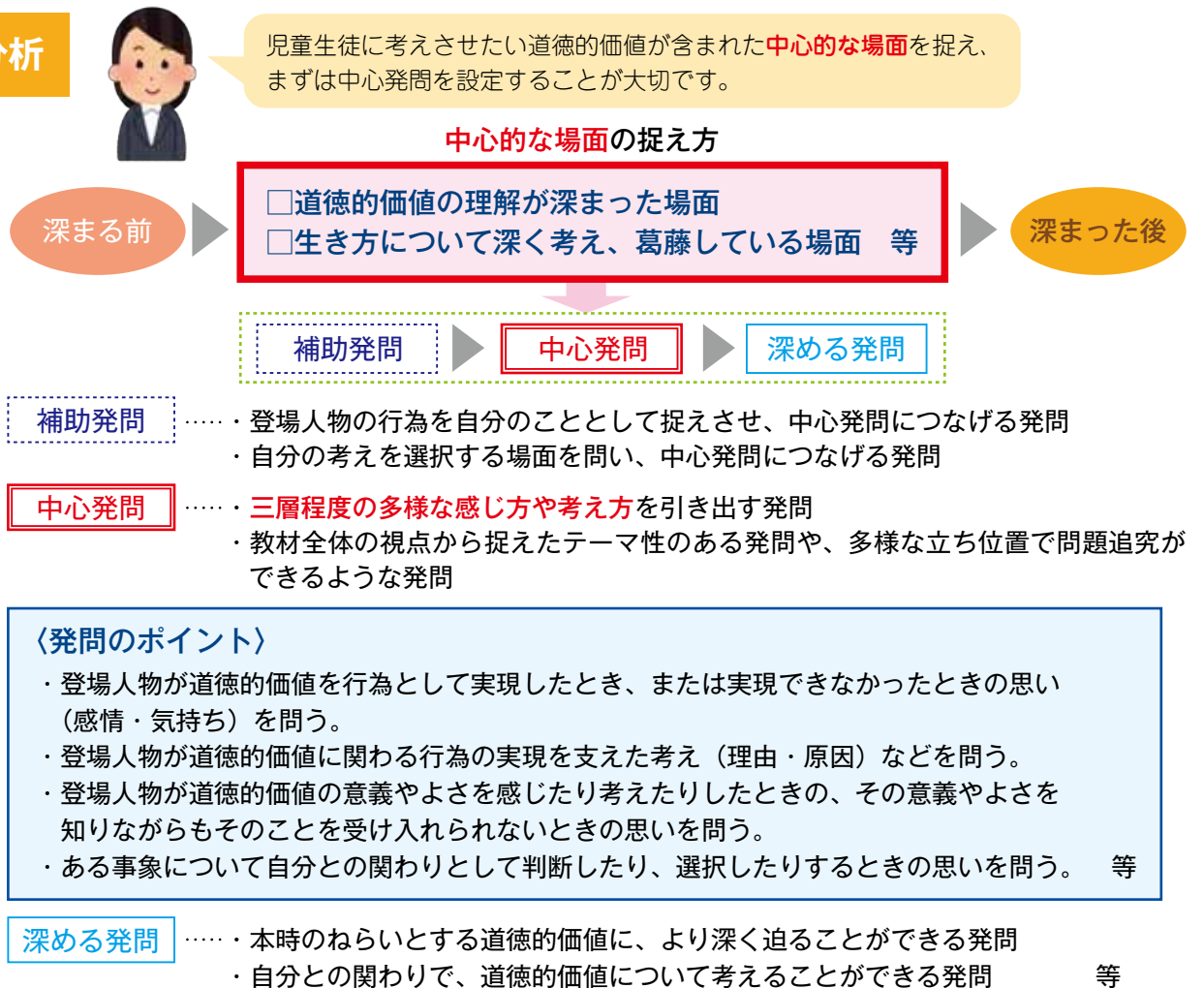
### ◇授業づくりの手順

#### 授業の構想

道徳的諸価値の理解を深めるために、指導観（価値観、児童生徒観、教材観）を明確にした授業を構想することが大切です。



#### 教材の分析




(次のページ)

## 授業展開

物事を（広い視野から）**多面的・多角的**に考えさせたり、**自己の（人間として）の生き方**についての考えを深めさせたりすることが大切です。

※（ ）内は中学校

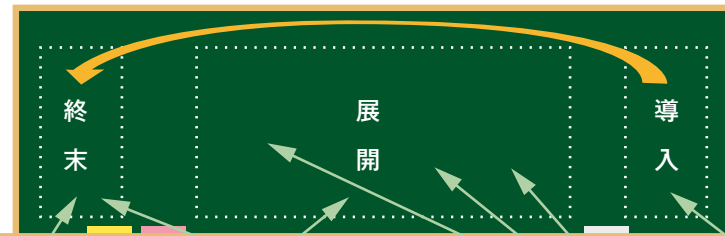
<p><b>導入</b></p>	<p>○ねらいとする道徳的価値の理解を基に、主題に対する児童生徒の興味・関心を高め、動機付けを図る段階</p> <p>・身近な生活や社会的な問題から、児童生徒の疑問を生み出し、より積極的に問題意識をもつことができるような動機付けをしましょう。</p> 	<p>○事前アンケートの活用 (例)</p> <p>○教材提示や導入の工夫</p> <p>・紙芝居・小道具・実物・音声や音楽 ・新聞・日記、ノート・影絵、人形やペーパーサート・手紙・ゲストティーチャー ・ビデオなどの映像や写真 等</p>
<p><b>展開</b></p>	<p>○ねらいを達成するために中心となる段階であり、児童生徒が道徳的価値の理解を基に、自分を見つめる段階</p> <p>・児童生徒の考えを把握し全体に投げ掛けたり、発言を視覚的に整理し板書に位置付けたりするなど、考えを広げ深めさせましょう。</p> <p>・交流活動や表現活動を工夫する際は、活動の目的を明確にしましょう。</p> 	<p>○発問の工夫</p> <p>○板書の構成</p> <p>○書く活動の時間の確保</p> <p>○話し合い活動の工夫</p> <p>・座席の配置の工夫 ・討議形式 ・ペアでの対話やグループによる話し合い</p> <p>○疑似体験的な表現活動の工夫</p> <p>・役割演技 ・動作化 等</p>
<p><b>終末</b></p>	<p>○ねらいにある道徳的価値に対する考えをまとめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを確認したりして、自分の成長につなぐ段階</p> <p>・学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめたり、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからの自分や相手への思いや課題などを考えたりする学習活動が考えられます。</p> <p>・児童生徒に目標設定や決意表明を迫ったり、望ましい行為や行動を押し付けたりせず、自らの成長を実感できるようにしましょう。</p> 	<p>○説話の工夫</p> <p>・教師の体験や願い・身近な日常の問題 ・教材との関連 ・格言、名言 など</p> <p>○感性をゆさぶる工夫</p> <p>・写真 ・映像 ・音楽</p> <p>○学習を振り返る活動</p> <p>・メッセージ（手紙）を書く ・自分の学びを自覚する ・タブレット端末等を活用し、互いに学んだことを共有する</p>

## 授業評価

教師が自らの授業の学習指導過程を振り返り、その評価を次の指導に生かすことが、道徳性を養う指導の改善につながります。授業における評価の視点や本時の板書を基にしながら、授業を振り返りましょう。

※P14 評価の視点を参照

「今日の授業はどうだったか…」授業後の板書をタブレット端末等で撮影し、チェックポイントを参考にしながら振り返ってみましょう。



板書を学年間等で見合い、授業について交流することも、互いの授業力向上につながります。

### Check point

児童生徒の考えの変容は見られたか

児童生徒の多様な考えを位置付けられているか

発問は児童生徒が新たな考えに出会い、考えを広め、深めるものであったか

児童生徒の興味・関心を高める導入であったか

### 校内研修や互見授業では

授業記録や板書等を基に児童生徒の発言をどのように引き出したか、より深めるためにどのような手立てが必要であったかなど、学習指導過程や指導方法について検証し、次時以降の指導に生かしましょう。



#### 教師の発問主導パターン (授業構想に沿って発問)

時間	教師 (発問・手立て等)	児童生徒 (発言・つぶやき・表情等)
	・「○○○○」 (主題への興味・関心)	→
	・資料を範読 ・「○○○○」(補助発問) ・黒板に□□を提示	→
	・「○○○○」(中心発問)	→
	・「○○○○」(深める発問)	→
	・振り返り	

#### 教師と児童生徒の双方向展開パターン (児童生徒の発言や状況から発問)

時間	教師 (発問・手立て等)	児童生徒 (発言・つぶやき・表情等)
	・「○○○○」 (主題への興味・関心)	→
	・資料を範読 ・「○○○○」(補助発問) ・黒板に□□を提示	→
	・「○○○○」(中心発問)	→
	・「○○○○」(深める発問)	→
	・振り返り	

#### 児童生徒同士の学び合いパターン (児童生徒の対話からねらいに沿って発問)

時間	教師 (発問・手立て等)	児童生徒 (発言・つぶやき・表情等)
	・「○○○○」 (主題への興味・関心)	→
	・資料を範読	→
	・「○○○○」(補助発問) ・黒板に□□を提示	→
	・「○○○○」(中心発問)	→
	・「○○○○」(深める発問)	→
	・振り返り	

※巻末の「授業づくりのポイント」を参照

# III 道徳科の授業展開例

## ◇道徳科の特質を生かした学習指導

### 道徳的諸価値についての理解

自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、**価値理解・人間理解・他者理解**を深めていく学習活動

自己理解の深まりへつなげていきます

\*P3を参照

### 自己を見つめる

教材を通して、自分の経験と照らし合わせながら考えを深めたり、自分との関わりで道徳的価値を捉えたりして、自分自身についての理解を深めていく学習活動

## 小学校及び義務教育学校前期課程 本時案例

- 主題名 友だちをしんじる B-9【友情、信頼】
- 教材名 「ゲームのやくそく」(出典：光文書院「小学どうとくゆたかな心4年」) ◇小・義務(前)実践 No.1
- ねらい 長く遊べないのに「遊べる」と言った千秋の気持ちを、<千秋の忙しさ><二人への思い><千秋の願い>等に着手して話し合わせることで、相手の状況や気持ちを考えたり互いに思いを伝え合ったりして、よりよい友達関係を築こうとする道徳的心情を育てる。
- 本時の展開

過程	学習活動	指導及び留意点	評価の視点等					
導入	1. 友達との関わりについて、自分の経験を振り返る。 <b>自己を見つめる</b>	○「よい友達関係をつくるために大切なこと」についてめあてをもたせる。 ・事前アンケート「よい友達とは」「友達が約束を守らなかったときどんな気持ちになるか」を紹介し、自分の経験やその時の様々な気持ちを共有する。						
展開	2. 資料を読み、三人の関係を考える。	○資料を範読後、内容(どんな約束をしてどうだったか)を整理する。 ・ますみとかほが、千秋を強い言葉で責めたことから、二人の気持ちを考えさせる。 <b>ますみとかほは、どんな気持ちだったのかな</b> (予想される児童の考え) 「急にいなくなると楽しくない」「嫌われたと思った」「心配するから言ってほしかった」 ・長く遊べないのに「遊べる」と言った千秋に焦点化し、千秋の思いに迫る。	補助発問 人間理解 他者理解					
	3. 主人公の行動について考える。 <b>多面的・多角的に考える</b>	<b>長く遊べないのに、なぜ千秋は「遊べる」と言ったのかな</b> ・千秋の気持ちが分かるか心情メーターをロイロノートで提出させ、共有する。 ○「遊べる」と言った千秋の気持ちを想像し、ノートに書かせる。 ・全体交流を行い、考えを<千秋の忙しさ><二人への思い><千秋の願い>の三層に分け板書に位置付ける。 <table border="1" style="display: inline-table; margin: 5px;"> <tr> <td>【千秋の忙しさ】</td> <td>【二人への思い】</td> <td>【千秋の願い】</td> </tr> <tr> <td>・引越して忙しいけど少しでも遊びたい</td> <td>・少しでも遊びたい・心配させたくない</td> <td>・今のうちに思い出をつくりたい・残りの学校生活を楽しくしたい</td> </tr> </table>	【千秋の忙しさ】	【二人への思い】	【千秋の願い】	・引越して忙しいけど少しでも遊びたい	・少しでも遊びたい・心配させたくない	・今のうちに思い出をつくりたい・残りの学校生活を楽しくしたい
【千秋の忙しさ】	【二人への思い】	【千秋の願い】						
・引越して忙しいけど少しでも遊びたい	・少しでも遊びたい・心配させたくない	・今のうちに思い出をつくりたい・残りの学校生活を楽しくしたい						
終末	4. 二人の行動について考える。 <b>多面的・多角的に考える</b> <b>自己を見つめる</b>	・「心が何かにぎゅっとしめつけられる」から、二人の心の変化を考えさせる。 <b>ますみとかほは、千秋のどんな気持ちに気付いたからあやまったのかな</b> ○「転校の事実を知った」ことだけでなく、「千秋の言い出せなかった辛さ」に寄り添う二人の思いを板書に位置付ける。 ・千秋も、どんな気持ちでますみとかほにあやまったのかを考えさせる。 ・よい友達関係をつくるためには、相手の状況(理由)や気持ちを考えたり、お互いに思いを伝え合ったりしようとするのが大切なことを確認する。 ○授業を通して児童から出された考えを板書に整理し、本時の学びを振り返る。	本当のことを言えなかった千秋の苦しさ、悲しさに迫る発問です。 <b>深める発問</b> 価値理解					
	5. 振り返りをする。 <b>自己の生き方について考えを深める</b>	○これまでの自分を振り返り、よい友達関係をつくるために大切なことを考えさせる。 ・考えを書いたノートをタブレット端末で撮影し、ロイロノートで提出させる。 ・道徳的価値に迫る児童の振り返りを紹介する。	<b>自己理解の深まり</b>					

### ○本時の板書

三層に分けられた児童の考えが、分かりやすく位置付いています。





この本時案等は、大分市教育センターHP内「T-LABO」>教育情報 Espresso>各種教育情報>「考え、議論する道徳」の授業実践に掲載→  
\*大分市道徳指導ハンドブック（平成30年3月）「魅力ある道徳授業の展開」に掲載している指導案も見ることができます。

**多面的・多角的に考える**

道徳的価値に係る諸事象を一面からではなく、様々な面（立場や時間、他の道徳的価値との関わり等）から捉える学習活動

**自己の生き方について考えを深める**

ねらいとする道徳的価値から自分を振り返り、これからの生き方の課題について考えたり、いかにによりよく生きるかという人間としての生き方を模索したりする学習活動

**中学校及び義務教育学校後期課程 本時案例**

- 主題名 将来の自分を見つめて C-13【勤労】
- 教材名 「好きな仕事か安定かなやんでいる」（出典：東京書籍「新しい道徳3」） ◇中・義務（後）実践 No.1
- ねらい 将来仕事を選ぶときに優先することを、＜収入や安定＞＜目標ややりがい＞＜社会貢献＞等に着目し、話し合わせる活動を通して、勤労の意義を理解するとともに将来の生き方について考えを深め、充実した生き方を追求しようとする道徳的心情を育てる。

○本時の展開

過程	学習活動	指導及び留意点	評価の視点等		
導入	1. 「勤労」について、学級全体の傾向を知る。	○生徒に「仕事を選ぶときに重視すること」に関する事前アンケートの結果を提示し、本時に扱う道徳的価値についてめあてをもたせる。 ・本時は「勤労」のもつ様々な意義について考えることを確認する。			
展開	2. 資料を読み、青年の悩みについて考える。 <b>自己を見つめる</b>	○「好きな仕事か安定か悩んでいる」を範読し、内容を整理する。 <b>「仕事を選ぶとき、好きな仕事を選ぶか、安定した仕事を選ぶか」</b> ・仕事を選ぶとき優先することを(好きな仕事)(安定した仕事)のどちらか考え、その理由を考えさせる。その際、心情用を活用し、その割合を記入させる。 (予想される生徒の考え) 好きな仕事:好きな仕事なら楽しく働けると思うから 安定した仕事:生きていくのに収入は必要だと思うから	自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりすることで、自分の考えを深めていたか <b>補助発問</b> <b>他者理解</b>		
	3. 職業選択にはどんな視点があるかを考える。 <b>多面的・多角的に考える</b>	○ワークシートに自分の考えを書かせ、グループで話し合わせる。 ・自分の考えをロイロノート内、思考ツール(ダイヤモンドランキング)にて提出させる。 ・考えを出し合い、＜収入や安定＞＜目標ややりがい＞＜社会貢献＞の三層に分け板書に位置付ける。 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td><b>【収入や安定】</b> ・家族を養えるよう安定した仕事を選びたい</td> <td><b>【目標ややりがい】</b> ・得意なことを活かしたい ・意欲的に打ち込める仕事に就きたい</td> <td><b>【社会貢献】</b> ・人の役に立つ仕事に就きたい ・社会の一員として役割を果たしたい</td> </tr> </table>	<b>【収入や安定】</b> ・家族を養えるよう安定した仕事を選びたい	<b>【目標ややりがい】</b> ・得意なことを活かしたい ・意欲的に打ち込める仕事に就きたい	<b>【社会貢献】</b> ・人の役に立つ仕事に就きたい ・社会の一員として役割を果たしたい
<b>【収入や安定】</b> ・家族を養えるよう安定した仕事を選びたい	<b>【目標ややりがい】</b> ・得意なことを活かしたい ・意欲的に打ち込める仕事に就きたい	<b>【社会貢献】</b> ・人の役に立つ仕事に就きたい ・社会の一員として役割を果たしたい			
終末	4. 進路や職業選択の時に大切なことについて考える。 <b>自己を見つめる</b> <b>多面的・多角的に考える</b>	○職場体験学習等の体験活動を通して社会貢献する中で得られた達成感や充実感を想起させる。 ○話し合いの中で、勤労には【収入や安定】【目標ややりがい】以外にも社会に貢献する意義があることに気が付き始めたところで深める発問をする。 <b>「あなたはどんな生き方をするために、何を重視して仕事を選ぶか」</b> ・牧師、会社員、飲食店経営者、アルバイトの四人の投稿記事を読ませ、進路や将来の仕事を考えるときに、それぞれが大切にしていることは何か考え、ワークシートに自分の考えを書かせ、発表させる。 ○授業を通して生徒から出された考えを板書に整理し、本時の学びを振り返る。	様々な職業の方の考え方に出会い、自分の考えを更に深めます。 <b>深める発問</b> <b>価値理解</b>		
	5. 振り返りをする。 <b>自己の生き方について考えを深める</b>	○教師が自らの職業観を語り、勤労について考えたことをワークシートに書かせ、ワークシートを写したものを、ロイロノートにて提出させる。 ・全体で共有し、数名の生徒に発表させる。	*自己評価シート <b>自己理解の深まり</b>		

○本時の板書

ワークシートに考えを書かせたのちに、ロイロノート内の思考ツールを用いて、考えを整理しています。



# IV 道徳科に生かす指導方法の工夫

## ◇導入の工夫

◇の付いた実践（指導案・板書等）は、P6の二次元コードから閲覧できます。

導入の段階には、児童生徒の授業に対する興味・関心を高め、本時のねらいとする道徳的価値につなぐ役割があります。また、一人一人の学習意欲を高めるためには、日頃抱えている問題意識を学級内で共有するなど、**導入の段階で様々な工夫**をすることが大切です。

### 小学校及び義務教育学校前期課程 実践例

#### アンケートの活用

（質問）  
友達が約束を守らなかったら、どんな気持ちになるか？



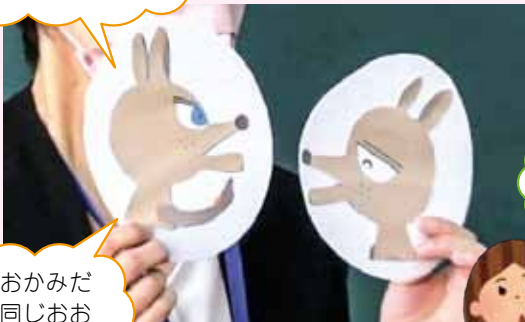
◇小・義務(前)実践 No.1



こんなふう  
に思っている  
だね…

本時で考えさせたい道徳的価値のねらいに迫るために実施したアンケートを紹介することにより、学級の実態を把握し、児童自身が現状を見つめることができます。

こんなおおかみが出てくるよ。2匹出てくると思う？



違うおおかみだけど、同じおおかみだよ。

◇小・義務(前)実践 No.2

#### ペープサートの活用

範読前に表情の違う2種類のおおかみの顔を提示することは、児童が視点をもって聞くことにつながります。授業のねらいを踏まえ、範読の際に意図的に緩急をつけたり、間を取ったりする工夫も考えられます。

あれ？顔が全然違うな…



どんなお話なのかな？

#### これまでの学習や生活とつなぐ



日常の中で生まれた名言

これまでの道徳科の授業で学んだ道徳的価値



◇小・義務(前)実践 No.3

学校生活の中で、児童から出された名言を授業の導入で触れることにより、道徳的価値について考えさせていくことができます。







導入に時間を掛けてしまい、展開部分の時間が足りなくなってしまう…そんな経験はありませんか？  
導入は授業の入口であり、本時の終末とつながっていくものです。授業でねらう道徳性を養うため、  
学級の児童生徒の実態に合わせて、導入を工夫しましょう。



## 中学校及び義務教育学校後期課程 実践例

### テーマについての調べ学習



◇中・義務(後) No.2



●調べ学習

本時の学習だけでなく、  
事前学習として、テーマ  
についてタブレット端末  
を活用した調べ学習を実  
施し、共通するテーマか  
ら、本時のねらいに迫る  
内容へと入っていきます。

### 新聞記事等を活用

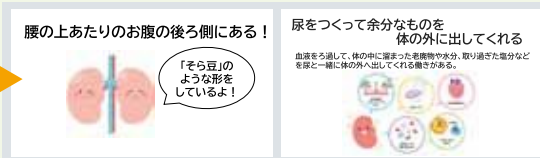


朝自習等の時間を利  
用して、授業に関連  
のある新聞記事を読  
ませ、事前に考えを  
もたせておきます。



◇中・義務(後) No.3

授業の導入では、知っておいてもらい  
たい内容を、プレゼンテーションソフトに  
まとめて紹介することで、考えをもつため  
の手掛かりとします。



### ゲストティーチャーを活用

道徳科の授業は、他教科  
と関連を図りながら実施  
することが有効です。  
ゲストティーチャーに  
よる出前授業（総合的  
な学習の時間）と関連  
付けることにより、よ  
り生徒が興味・関心を  
もって、学習に臨むこ  
とができます。

●JICA海外協力隊の経験者  
から、現地での体験につい  
ての話を聞く



ゲストティーチャー（JICA九州）

●実際の授業



◇中・義務(後) No.5



これは、トルコの震災における救援活動に尽力した大分市出身の宮崎淳さんに関する授業  
（国際理解）場面です。小学校での実践も掲載しています。

◇小・義務(前)実践 No.8



## ◇話し合いの工夫

児童生徒が多様な感じ方に接し、相互の考えを広げ深めるために、対話を通じた協働的な学びが必要です。授業の中で、一人一人が考えを出し合う、整理する、比較するなど、目的に応じた**効果的な話し合いになるよう工夫**しましょう。

### 小学校及び義務教育学校前期課程 実践例

#### 役割演技

役割演技をすることにより、児童は登場人物を自分に置き換えて、気持ちを考えることができます。



役割演技をする前の場面



◇小・義務(前)実践 No.2

ぼくがおおかみさんだったら…

登場人物の気持ちを言語化することで、ねらいとする道徳的価値につながるキーワードを引き出します。

#### 討議形式



◇小・義務(前)実践 No.4

自分とは異なる考えに接する中で、自分の感じ方や考え方が明確になるなど、話し合いにより学習の深まりを実感させることが大切です。



#### ホワイトボードを活用



◇小・義務(前)実践 No.4

#### 心情の変化を可視化



タブレット端末を使用し、画面共有をすることで、それぞれの考えを捉えやすくなります。



◇小・義務(前)実践 No.1

心情円等のツールを用いて自分の気持ちを可視化し、共有することにより、対話がしやすくなります。

赤白帽子等の身近な持ち物を使って、今の気持ちを表現させることができます。



話し合いの基盤として、互いの考えを肯定的に受け止めるなどの話し合いのルールを身に付け、日頃から何でも言い合え、認め合える学級の雰囲気をつくる必要があります。



## 中学校及び義務教育学校後期課程 実践例

### 思考ツールを活用した話し合い



自分はこのあたりかな…

立場が異なる考え方を示すことができる思考ツール（スケール）を用いて、自分の気持ちの位置を指し示しながら「なぜ、自分はこのような気持ちになっているのか」等を班で話し合っています。

◇中・義務（後）No.3

### 議論の進め方カードを活用



●役割分担カード



●役割分担をした班の話し合い

話し合いの進め方 カード			
役割	発言	発言	発言
司会者	「では、話し合いを始めます。議題は「マです。」	【 議題を言う → 議題や理由を言う 】	議題を言う 「マです。」
実行者	「まず、この議題について、順番に、みなさんの意見を、その理由を言わせてください。」 「Aさん、どうぞ。」「Bさん、どうぞ。」 「Cさん、どうぞ。」「司会者の「はい、どうぞ。」	「私は○○と思います。理由は～からです。」 「私は○○と思います。理由は～からです。」	議題を言う 「マです。」
記録者	「では、それぞれの意見について、質問はありませんか。」 実行者「みなさんの意見を聞いてみてどうですか。」 「（その意見について） ○○さんはどう思いますか。」	「Aさんの言ったことは、どういふことですか。」 「Bさんの言ったことは、どういふことですか。」	議題を言う 「マです。」
代表者	「班のAの意見で、私に合った意見を選びました。」	「私は○○という意見に賛成です。理由は～です。」 「私は○○という意見に賛成です。～もあると思います。理由は～です。」	議題を言う 「マです。」

●班の議論の進め方カード

◇中・義務（後）No.4

話し合いの場面では、議論の進め方を基に、自分の伝えたいことに合わせて話型や言葉を選ぶことにより、より活発な対話へとつなぐことが期待できます。また、班の中で役割を決め、進行する際のヒントにもなります。



話し合いを通して、自分とは異なった考えに接する中で、自分の感じ方や考え方が明確になるなど、話し合いによる学習の深まりを実感させることが大切です。

●学級全体で



●ペアや班で



### 代表者による議論



◇中・義務（後）No.2

異なる立場の考えをもつ代表者が前に出て、教師は進行役となり議論を行います。他の生徒は、代表者の考えを聞きながら、自分の考えを深めていきます。



## ◇書く活動の工夫

書く活動には、児童生徒が自ら考えを整理したり、深めたりするための大事な役割があります。また、記述されたノートやワークシートを確認することにより、児童生徒の学習状況を把握したり、本時の手立ての課題や有効性を見直すことで授業改善に生かしたりすることもできます。**自分の考えや気付き、意識の変容などを表現**するために、道徳ノートやワークシート、タブレット端末等を活用しましょう。

### 小学校及び義務教育学校前期課程 実践例

#### 登場人物への手紙



サヤカちゃんに  
お手紙を書きましょう。

授業の終末段階において、登場人物に対する手紙を書く活動を設定することは、相手意識をもって児童がより自分との関わりで考えることにつながり、考えたことについて、伝えたいという意欲が高まってきます。



◇小・義務(前)実践 No.5

#### 自分の考え(気持ち)を絵に表現



問いに対する自分の考えや授業を通して感じたことなどを、絵を描いたり、色を塗ったりすることで、言葉では表現できない様々な思いを表すことができます。

◇小・義務(前)実践 No.6

#### シートに記入し、全体共有

「書く」場面で、タブレット端末等のICTを活用する授業が多くあります。それぞれの考えを教師も児童生徒も共有しやすくなります。



中心発問に対する自分の考えをロイロノートのシートに記入し、提出します。画面に映し出された様々な考えを共有することで、学級の中で、誰がどのように考えているのかを一覧にして、把握することができます。

◇小・義務(前)実践 No.7

道徳教育アーカイブ（文部科学省）にも、授業づくりの参考になる実践例（授業動画）を掲載⇒



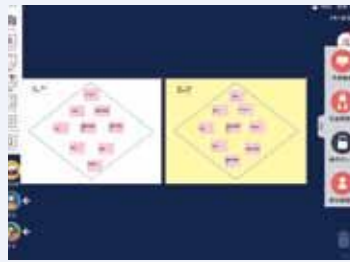
児童生徒が自分の考えを思考ツールや短冊等を書くことは、物事を広い視野から多面的・多角的に考えることにつながります。1 単位時間の授業の中で、目的に応じて考えを記録する場面の設定をし、時間の確保をしましょう。

## 中学校及び義務教育学校後期課程 実践例

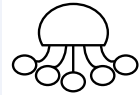
### 思考ツールを活用



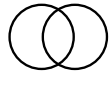
◇中・義務（後）No.1



その他の思考ツール



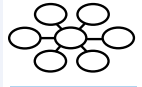
クラゲチャート



ベン図



バタフライチャート



イメージマップ

多様な意見を出させたい時はイメージマップ、複数の意見の共通点を見付けさせる時はベン図等、様々な思考ツールを目的に応じて活用することが大切です。

### 短冊を用いて考えを整理

●自分の考えを書く



この考えと似ています。

●班で話し合い、意見を短冊に書く



みんなはどう思う？



●全体で共有し、分類する



生徒自らが友達の考えとの比較・分類をしながら板書に位置付けていきます。

●考えの違いが分かるように整理する

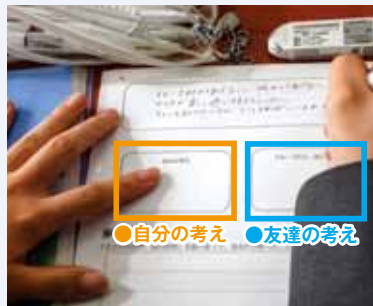


### 思考の流れに沿ったワークシート

●友達の考えと比較



●タブレット端末と連動  
タブレット端末内の思考ツールを活用した後、その考えを記録することで学びを振り返ることができます。



●自分の考え ●友達の考え

授業の流れに沿ったワークシートに自分の考えを記録しています。1 単位時間の授業の中で自分の考えの変容が分かり、自己の学びを実感できます。また、自分の考えの横にペアや班で話し合った友達の考えを記録し、比較することも有効です。

生徒が自分の考えを記述したワークシート等は、教師にとっても生徒の感じ方や考え方を捉え、個別に学びを支援する手掛かりとなります。ファイル等に蓄積しておくことで評価に活用することができます。



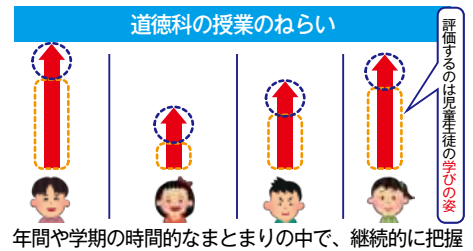
# V 道徳科の評価について

## ◇評価の基本的な考え方

- 数値による評価ではなく、**記述式**とすること
- 個々の内容項目ごとではなく、**大きくくりなまとまりを踏まえた評価**とすること
- 他の児童生徒との比較による評価や目標への到達度を測る評価ではなく、**児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価**として行うこと
- 学習活動において児童生徒がより**多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか**といった視点を重視すること

## Q 道徳科では、何を評価するのでしょうか？

A 道徳科の授業は、道徳性を養うことを目指して行いますが、児童生徒の道徳性が育ったかどうかを評価するものではありません。道徳性そのものを評価するのではなく、授業の中で見られる児童生徒の**学びの姿**（学習状況や道徳性に係る成長の様子）を**継続的に把握し蓄積して評価**を行います。



## Q 学びの姿（学習状況や道徳性に係る成長の様子）とは、どのような姿ですか？

A 道徳科の目標に示された学習活動における児童生徒の発言や記述等のことです。

- 道徳的諸価値の理解 ※（ ）内は中学校
- 自己を見つめる
- 物事を（広い視野から）多面的・多角的に考える
- 自己の（人間としての）生き方についての考えを深める

### こうした学習における学びの姿

- 道徳的価値のよさや大切さについて考えようとしている。
- 道徳的価値に根差した問題を、多面的・多角的に捉えて考えようとしている。
- 道徳的価値の理解を、自分の**これまでの体験**から感じたことと重ねて深めようとしている。
- 授業で学んだ道徳的価値のよさを感じ、**これからの自分の生き方に生かそう**としている。等



目標に向かって粘り強くやり抜くことは大切だなあ。

授業での発言から

目標の達成が難しいとき、これまでは…だったなあ。

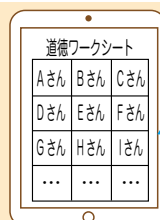
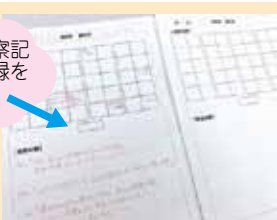


ワークシートの記述から

## ◇組織的・計画的な評価の工夫

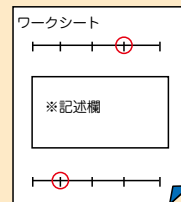
### 評価方法の具体例

授業時の観察記録や発言記録を残しておく



タブレット端末を活用し、授業ごとに児童生徒全員のワークシートを蓄積する

### 発言や書くことが苦手な児童生徒への配慮



記述だけでなく、選択の項目を設け、変容を見取る

- ・聞き入る姿、うなずく姿などを把握する
- ・意図的に観察したり指名したりする
- ・机間指導時や授業後に個別に問い掛ける

発言や記述ではない形で表出した姿を把握する



授業で児童生徒の学習状況をどのように見取っていくのかを校内で共通理解することが必要です。



評価に関する情報については、  
大分市教育センターHP内「T-LABO」>教育情報 Espresso> 各種教育情報>「考え、議論する道徳」の授業実践に掲載⇒

## ◇評価の記述について

### Q 「道徳教育における評価」と「道徳科における評価」の違いは何でしょうか？

A 学習指導要領に規定されている道徳教育の評価とは、教育活動全体で行われるものであり、指導要録では、「行動の記録」や「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に記載する評価のことです。

道徳科における評価は、道徳科の授業で見られた児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子であり、数値などによる評価は行いません。通知表(あゆみ)の評価については、法令上の規定はなく、各学校が独自に行っているものです。

### Q 評価の記述においては、どのようなことに留意すればよいでしょうか？

A 評価を記述する際は、通年での成長を見通し、年間にわたって、児童生徒の道徳科における「学習状況」や「道徳性に係る成長の様子」がどのように見られたのかを複数の情報に基づいて見取り、記述することが大切です。以下の視点を柱として記述します。

( )内は中学校

<p><b>視点</b></p> <p>児童生徒が<b>一面的な見方</b>から<b>多面的・多角的な見方</b>へ<b>発展させているかどうか</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道徳的価値に根差した問題を、一つの見方ではなく様々な角度から捉えて考えようとしている</li> <li>● 自分と違う立場や考え方を理解しようとしている</li> <li>● 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を(広い視野から)多面的・多角的に考えようとしている</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
<p><b>視点</b></p> <p>道徳的価値の<b>理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている</li> <li>● 現在の自分を振り返り、自らの行動や考えを見直そうとしている</li> <li>● 道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論し、道徳的価値の理解を更に深めている</li> <li>● 道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

通知表(あゆみ)に評価を記述する際は、保護者に伝わりやすい表現で、児童生徒の学びの姿を具体的に記述しましょう。

(記述内容)

- 成長の見られた学習は、どのような内容・場面か
- どのような学び方をしてきたのか
- その学びにより、道徳的価値に対するどのような高まりが見られたか
- 児童生徒への認めや励まし

(文中に避けたい言葉や表現)

- △ 児童生徒のマイナス面や他と比べる表現
- △ 安易な推測や予想による記述
- △ 曖昧で誰にでも当てはまるような表現

道徳科の授業を、学年間でローテーション授業にて行う学校があります。1単位時間ごとに授業者が変わっても、児童生徒にとっては貴重な学びであり、その学びの姿を適切に評価し、蓄積していくことは重要です。学習状況に関する評価の「妥当性」「信頼性」をもたせるためにも、校長及び道徳教育推進教師のリーダーシップの下に、学校(学年)として組織的・計画的な評価に取り組んでいきましょう。



## ◇評価において大切にしたいこと

児童生徒への評価は、指導要録やあゆみ等の記述に限られるものではありません。授業における教師の声掛けや道徳ノート、ワークシートへのコメントなども児童生徒を勇気付け、自信をもたせるための大切な評価となります。

児童生徒が自らの成長を実感し、さらに意欲をもって学習や生活に取り組もうとするきっかけとなるよう成長を見守り、努力を認め、励ましていく評価を目指していきましょう。



# 道徳科 授業づくりのポイント

道徳科の授業構想時や互見授業、校内研修の際に活用しましょう。

授業づくりのポイント		チェック
導入段階	① 学習指導要領解説や年間指導計画に基づいたねらいを設定しているか	
	② ねらいとする道徳的価値や教材に興味・関心をもたせるような導入となっているか	
展開段階	③ 児童生徒が理解できるような教材提示の工夫が行われているか	
	④ 児童生徒が道徳的価値に迫ることができるような発問をしているか	
	⑤ 児童生徒が自分の考えをもてるよう、時間を確保し、手立て（ワークシートやタブレット端末の活用等）を用意しているか	
	⑥ 児童生徒一人一人の感じ方や考え方を交流する場面を設定しているか	
	⑦ 交流活動や表現活動等を行う場面では、活動の意図を明確にしているか	
	⑧ 児童生徒の発言をじっくりと聴き、深めたりつないだりすることができているか	
	⑨ 思考を深める手掛かりとなる効果的な板書構成になっているか	
終末段階	⑩ ねらいとする道徳的価値に対して、児童生徒一人一人が自分なりの思いや考えを振り返り、書く活動等を通じて整理することができているか	
評価	⑪ 授業における評価の視点を、具体的に設定しているか	
	⑫ 児童生徒の学習状況を見取り、その記録を蓄積しているか	



今日の授業では、児童生徒が**自分との関わりの中で多面的・多角的**に考えたり議論したりする姿が見られましたか？授業を振り返り、その気付きを次の授業に生かしていきましょう！

NITS（独立行政法人教職員支援機構）の研修動画には、授業づくりのヒントが動画で掲載されています。校内研修等で活用することも可能です。視聴しませんか？⇒



## 参考資料・出典

- 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 特別の教科 道徳編
- 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 特別の教科 道徳編
- 文部科学省 道徳教育アーカイブ
- 大分市教育センター HP 内「T-LABO」>わかる授業「ワンポイント指導」>教育情報 Espresso

名前

